

## 事例報告

特別支援学校小学部児童に対する  
コミュニケーション  
(会話、叙述、要求)の指導について

# 対象児童の実態①

□ 小学部（自閉症）

□ 発達検査

発達年齢：3歳0ヶ月

## 対象児童の実態②

### □ コミュニケーション面

- ・ 不明瞭な言葉もあるが、教員の言葉の真似をしたり、見た物の名前を言ったりすることができる。
- ・ 慣れた人に対しては、いたずらのような関わりをして注目を得ようとしたり積極的に名前を呼んだりするなど、人と関わるのが好きである。
- ・ 簡単な音声指示を理解することができる。
- ・ 教員や友だちに対して自分から「おはよう」「さようなら」と伝えることができる。
- ・ 自分で何とかしようとしてしまうことが多い。カードを使い、要求・報告の練習をしている。
- ・ やりたくない活動があるときには、「いやだ」「ないよ」と言って拒否したり、物に当たったりすることが多い。

## 保護者の願い

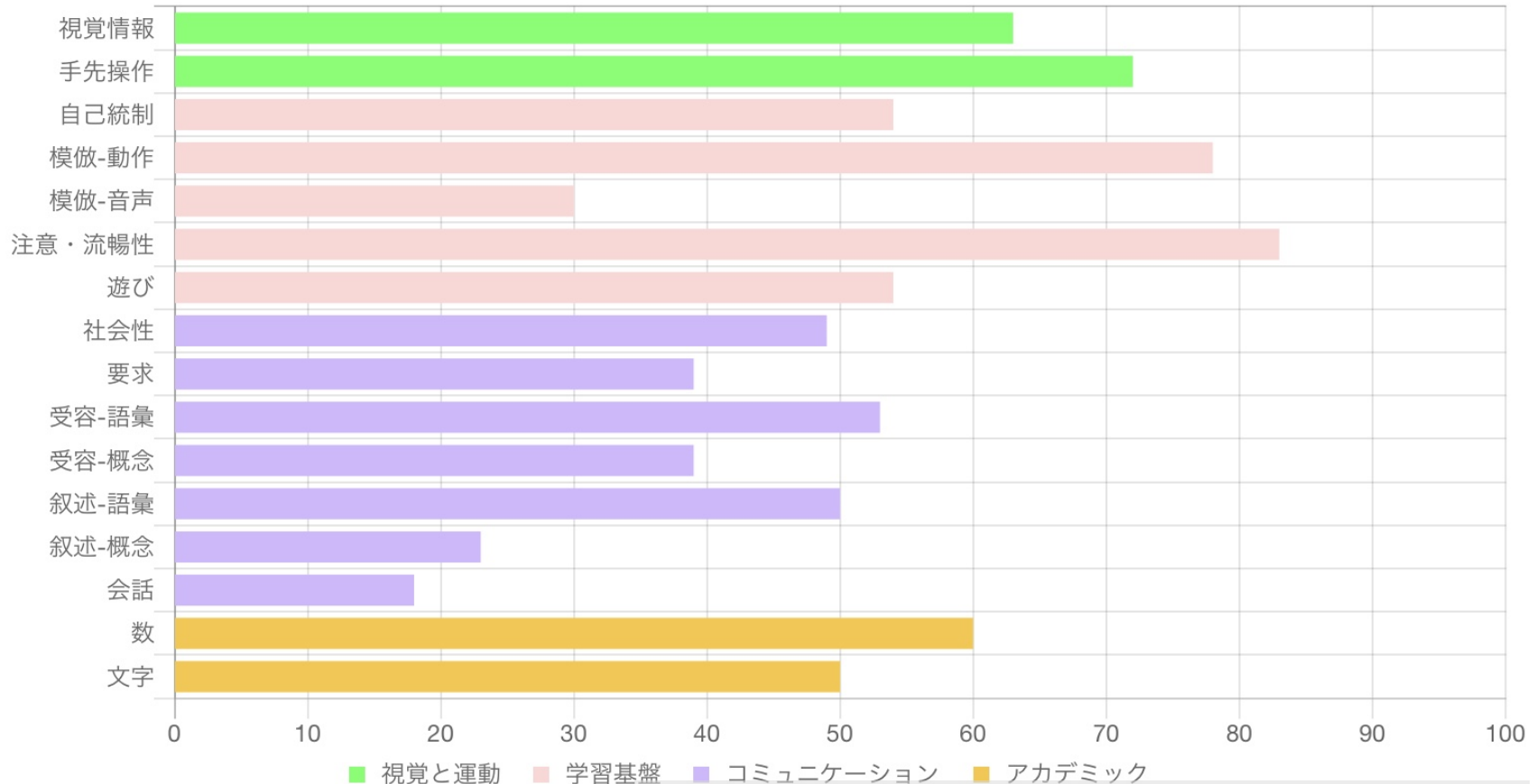
- 簡単なやりとりができるようになってほしい。
- 変更やいつもと違うことがあっても落ち着いて対応できるようにしてほしい。

## 教員の願い

- 自発的なコミュニケーションをとることができるようになってほしい。

# AI-PACの俯瞰図から

## □ R6年9月時点でのマスター率



〔会話〕〔叙述-概念〕のマスター率が低い



これらの中から課題を選択することにした

# 第Ⅰ回コンサル

□ 取り組みたい課題として、俯瞰図の中から 6 課題を選択

- ① 会話 － [動詞の穴埋め]
- ② 会話 － [情報交換]
- ③ 叙述-概念 － [経験報告(2段階)]
- ④ 叙述-概念 － [疑問詞弁別]
- ⑤ 要求 － [動詞の分化]
- ⑥ 要求 － [交渉]

□ 上記 6 課題について、どのような場面、方法で進めていくのがよいか助言をいただく。

# 第1回コンサルで助言いただいたこと

- 取り組みたい課題であげた6つのうち、要求「動詞の分化」、  
「交渉」は重要性が高い。日常場面で進めていくとよい。
- 「交渉」は選択肢が書かれたボードを使って、繰り返し出てくる  
場面で練習する。「やりたくない」ばかり選ぶ場合は、理由を  
選択する練習を行うのもひとつである。
- その他の4つについては、自立活動の時間等に机上でまとめて  
取り組んでいく。
- 「経験報告」については「筆箱しまって、ごみ捨てて」のよう  
な日常で使う動作で行う。

# 課題 ① 動詞の穴埋め

## □ 目標の設定

【目標】 教員の言った言葉に続く動詞を言葉で答えることができる。

【期間】 10月18日～12月6日

【指導場面】 対面課題

【指導方法】 初めは文字プロンプトで指導する。

- (1) 文字全てが記入されたカード
- (2) 語頭音のみ記入されたカード
- (3) カードなし

上記3段階でプロンプトをフェードアウトしていく。

- (4) カードなしで5回連続して正答率100%となった場合、  
目標達成とする。



# 課題 ① 動詞の穴埋め

## □ 指導の成果（記録表）

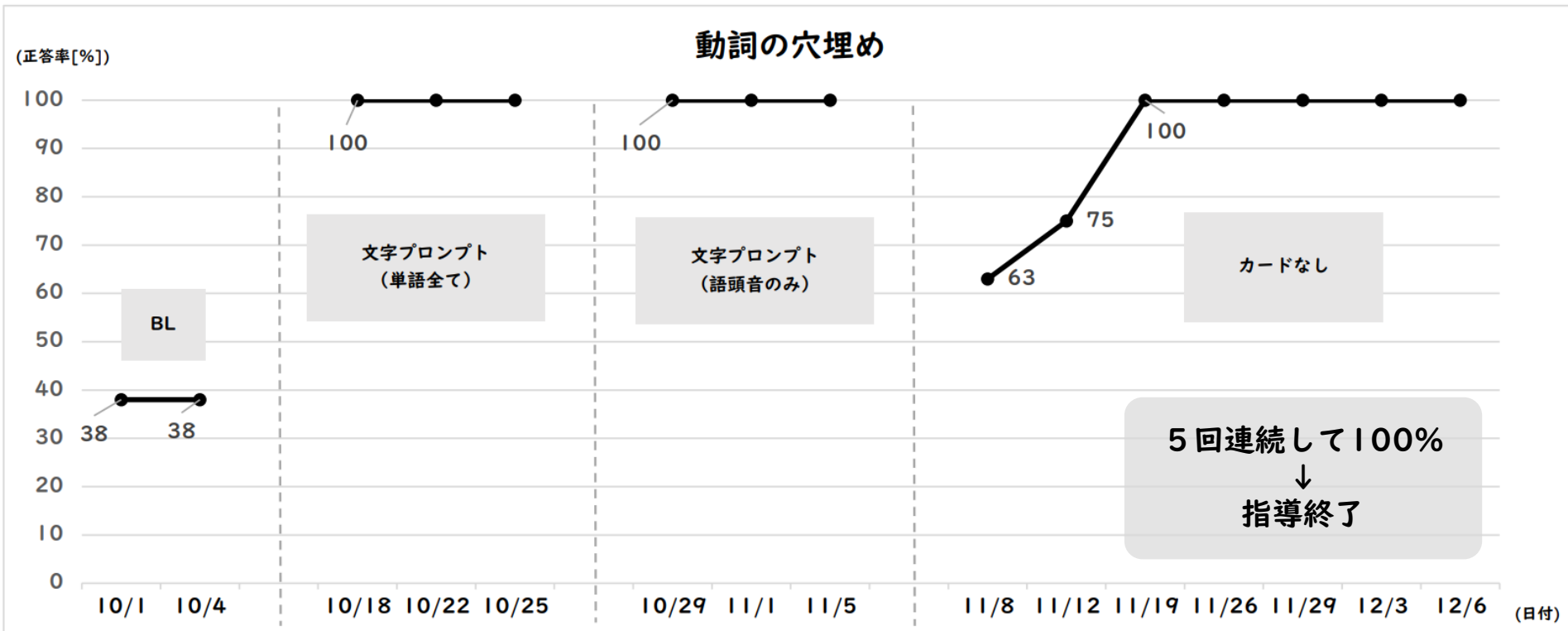
〔記録表〕 動詞の穴埋め

	10/1	10/4	10/18	10/22	10/25	10/29	11/1	11/5	11/8	11/12	11/19	11/26	11/29	12/3	12/6
	BL		文字プロンプト（単語全て）			文字プロンプト（語頭音のみ）			プロンプトなし						
コップで - 飲む	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
帽子を - かぶる	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
タオルで - ふく	-	-	+	+	+	+	+	+	P	+	+	+	+	+	+
電話を - かける	-	-	+	+	+	+	+	+	P	P	+	+	+	+	+
消しゴムで - 消す	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
鉛筆で - 書く	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
服を - 着る	-	-	+	+	+	+	+	+	P	P	+	+	+	+	+
はさみで - 切る	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
正答率 (%)	37.5	37.5	100	100	100	100	100	100	62.5	75	100	100	100	100	100

評価： + → プロンプトなしで正解 P → プロンプトで正解 - → プロンプトがあっても難しい

# 課題 ① 動詞の穴埋め

## □ 指導の成果（グラフ）



## 課題 ② 情報交換

### □ 目標の設定

【目標】 教員の「先生は、〇〇です」に対して、「ぼくは〇〇です」と言葉で答えることができる。

【期間】 10月18日～1月21日

【指導場面】 対面課題

【指導方法】 初めは文字プロンプトで指導する。

- (1) 文字全てが記入されたカード
- (2) 語頭音のみ記入されたカード
- (3) カードなし

上記3段階でプロンプトをフェードアウトしていく。

- (4) カードなしで5回連続して正答率が100%となった場合、目標達成とする。

# 課題 ② 情報交換

## □ 指導の成果（記録表）

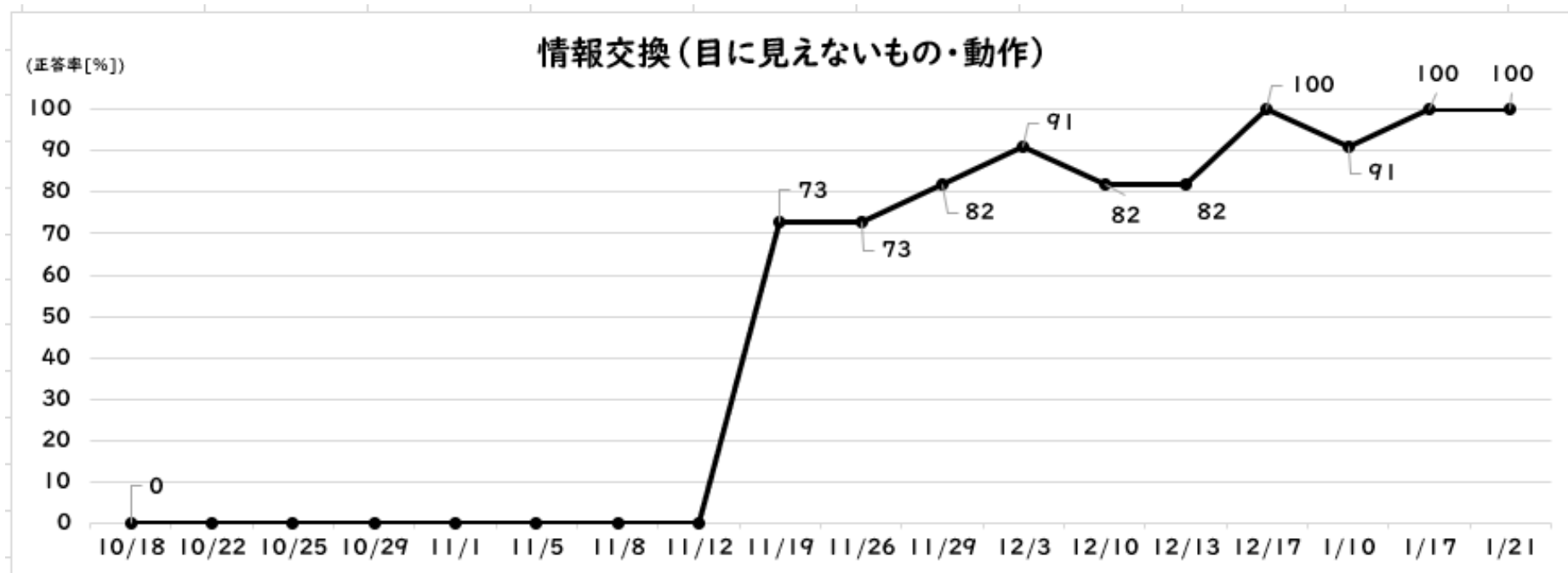
〔記録表〕 情報交換 目に見えない物・動作

	10/18	10/22	10/25	10/29	11/1	11/5	11/8	11/12	11/19	11/26	11/29	12/3	12/10	12/13	12/17	1/10	1/17	1/21
好きな色	P	P	P	P	P	P	P	P	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
好きな食べ物	P	P	P	P	P	P	P	P	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
苦手な食べ物	P	P	P	P	P	P	P	P	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
好きな動物	P	P	P	P	P	P	P	P	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
性別	P	P	P	P	P	P	P	P	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
年齢	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	+	P	P	+	P	+	+
「先生は立っています」 「ぼくは座っています」	P	P	P	P	P	P	P	P	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
「先生はタブレットを見えています」 「ぼくは本を読んでいます」	P	P	P	P	P	P	P	P	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
「先生は文字を書いています」 「ぼくははさみで切ってます」	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	+	+	+	+	+	+	+	+
「先生はブロックをしています」 「ぼくはパズルをしています」	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	+	+	+	+
「先生は本を読んでいます」 「ぼくはタブレットを見えています」	P	P	P	P	P	P	P	P	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
正答率（％）	0	0	0	0	0	0	0	0	73	73	82	91	82	82	100	91	100	100

評価： + → プロンプトなしで正解 P → プロンプトで正解 - → プロンプトがあっても難しい

## 課題 ② 情報交換

### □ 指導の成果（グラフ）



## 課題 ③ 経験報告

### □ 目標の設定

【目標】 教員の「今何した？」に対して、「〇〇して、〇〇した」と直前に行った2つの動作について正しく答えることができる。

【期間】 10月18日～1月17日

【指導場面】 対面課題

### 【指導方法】

- (1) 動作のあとに音声によるフィードバックありで指導する。
- (2) フィードバックありで5回連続して正答率が100%となった場合、フィードバックなしで実施する。
- (3) フィードバックなしでも5回連続して正答率が100%となった場合、目標達成とする。

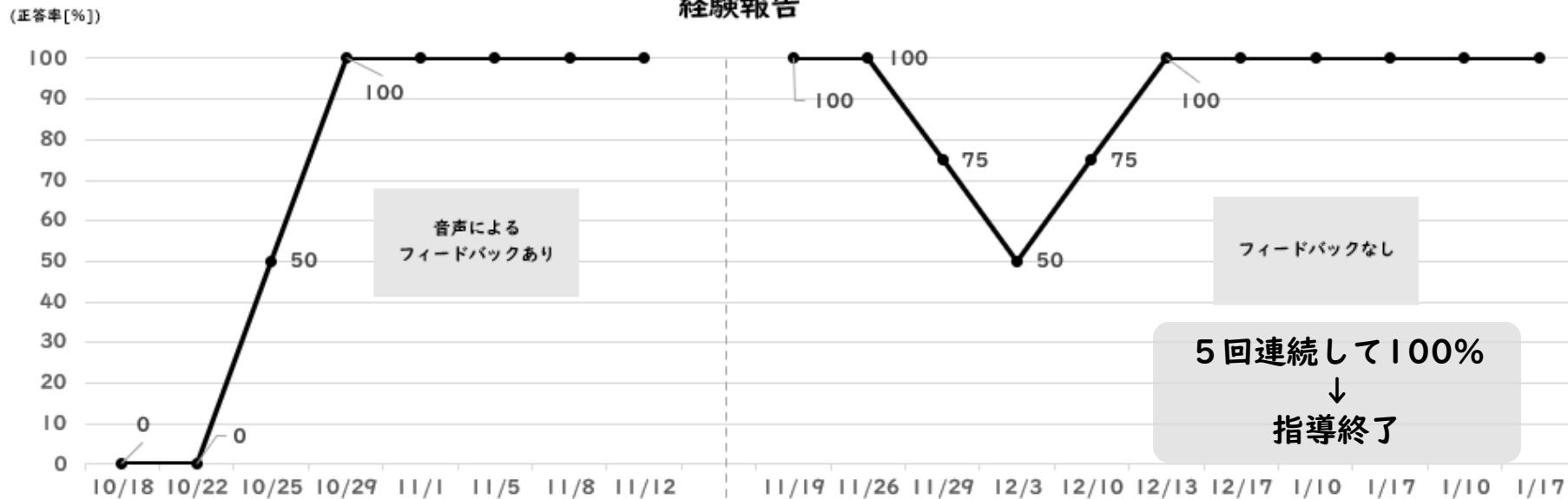
# 課題 ③ 経験報告

## □ 指導の成果（記録表・グラフ）

【記録表】経験報告

	10/18	10/22	10/25	10/29	11/1	11/5	11/8	11/12	11/19	11/26	11/29	12/3	12/6	12/10	12/13	12/17	1/10	1/17
	音声によるフィードバックあり								フィードバックなし									
立って、ゴミ捨てた	P	P	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
筆箱出して、鉛筆出した	P	P	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
筆箱しまって、はさみ取った	P	P	P	+	+	+	+	+	+	+	P	P	P	+	+	+	+	+
ノート出して、名前書いた	P	P	P	+	+	+	+	+	+	+	+	P	+	+	+	+	+	+
正答率（100%）	0	0	50	100	100	100	100	100	100	100	75	50	75	100	100	100	100	100

評価： + → プロンプトなしで正解 P → プロンプトで正解 - → プロンプトがあっても難しい



## 課題 ④ 疑問詞弁別

### □ 目標の設定

【目標】 写真を見て、誰、どこ、何してるの質問に答えることができる。

【期間】 10月18日～1月10日

【指導場面】 対面課題

- 【指導方法】
- (1) 校内の写真で場所の確認を行う。
  - (2) 対象への指さしありで質問を行う。
  - (3) 指さしありで5回連続して正答率が100%となった場合、指さしなしで実施。
  - (4) 指さしなしで5回連続して正答率が100%となった場合、目標達成とする。



# 課題④ 疑問詞弁別

## □ 指導の成果（記録表）

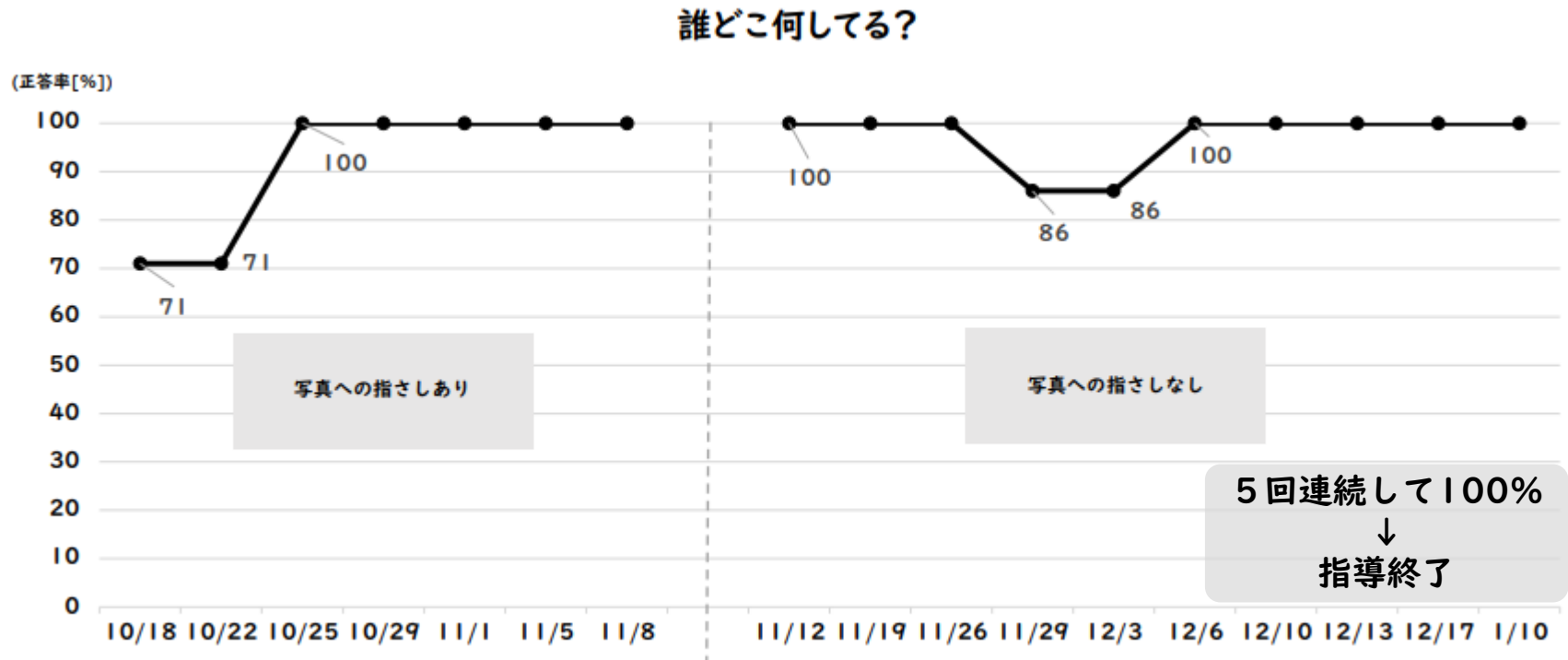
【記録表】誰どこ何してる？

	10/18	10/22	10/25	10/29	11/1	11/5	11/8	11/12	11/19	11/26	11/29	12/3	12/6	12/10	12/13	12/17	1/10
	対象への指さしあり							指さしなし									
〇〇、体育館、お茶飲んでる	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
〇〇、体育館、ボール持ってる	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
〇〇、教室、寝てる	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
〇〇、運動場、走ってる	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
〇〇、音楽室、キーボードしてる	P	P	+	+	+	+	+	+	+	+	P	P	+	+	+	+	+
〇〇、家庭科室、台拭きしてる	P	P	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
〇〇、教室、本読んでる	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
正答率（％）	71	71	100	100	100	100	100	100	100	100	86	86	100	100	100	100	100

評価： + → プロンプトなしで正解 P → プロンプトで正解 - → プロンプトがあっても難しい

## 課題④ 疑問詞弁別

### □ 指導の成果（グラフ）



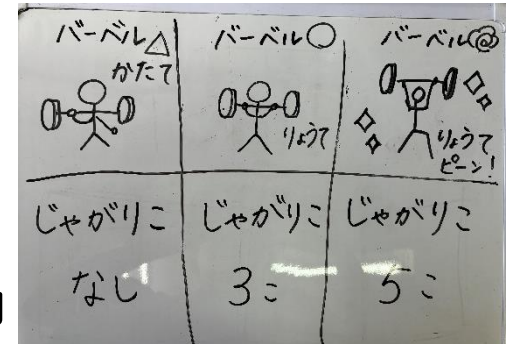
## 課題 ⑤ 要求【交渉】

### □ 要求【交渉】

(1) 運動会時に実施した。

学部種目のサーキットのうちの1つ「重量挙げ」で  
両手で持ち上げることが難しかった。

→ホワイトボードに3つの選択肢（文字＋イラスト）を  
示し本人に選択するよう促した。



【結果】表を見て、ご褒美が5個もらえる

「両手を伸ばしてバーベルを持ち上げる」  
を選択したが、運動会当日は片手で持ち上げたため  
ご褒美はゲットできなかった。

【考察】ご褒美を即時に渡せる状況ではなかった。

本見がかっこいいと思うポーズを決めたかった。

## 課題 ⑤ 要求【交渉】

### □ 要求【交渉】

(2) 朝の清掃（窓拭き）時に実施した。

本児は、朝の活動時に数種類の清掃活動を行っている。

その中で、廊下の窓拭きにのみ強い抵抗を示すことが増えてきたため、窓拭きの場所と窓の枚数について本児と相談して決めるようにした。

【Step1】 窓拭きの場所と枚数について相談

【実施日】 11/26・27・29・12/3・4

【結果】 実施日全てにおいて、お菓子が1個

もらえる廊下の窓2枚を拭くことを  
選択した。

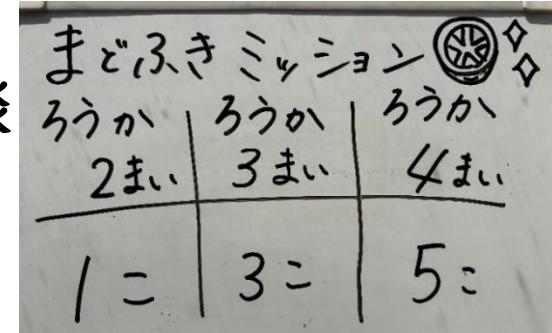
まどふき ミッション!!		
教室の	ろうかの	ろうかの
まど 2まい	まど 2まい	まど 4まい
じゃがりこ 0	じゃがりこ 1	じゃがりこ 2

廊下の窓を拭くことへの抵抗感はなくなってきたようだったため、Step2として窓拭きの場所を廊下の窓だけにして枚数を相談することとした。

## 課題 ⑤ 要求【交渉】

### □ 要求【交渉】

【Step 2】廊下の窓の枚数とお菓子の数を相談



【実施日】12/6・10・11・13・17・18・1/10

【結果】

	12/6	12/10	12/11	12/13	12/17	12/18	1/10
選択した廊下の窓の枚数	2枚	2枚	3枚	3枚	3枚	4枚	3枚

窓拭きの場所を廊下だけにしても、本児が抵抗感を示すことはなく、もらえるお菓子の数と窓の枚数を見て自分で選択し清掃に取り組むことができた。

## 課題⑤ 要求【動詞の分化】

### □ 要求【動詞の分化】

#### ①教えてください

→第1回の後、対面課題時に「わからない。教えてください。」と自発できるようになったため実施なし。

#### ②○○（かして）ください

→自立活動のねじ締め of 課題時に道具の要求で実施（10月18日～12月13日）。

→カードなしで5回連続して要求できたため、目標達成とする。

【記録表】要求

	10/18	10/22	10/25	10/29	11/1	11/5	11/8	11/12	11/19	11/26	11/29	12/3	12/6	12/10	12/13
	ヒントカード（全文）あり					ヒントカード（語頭音のみ）あり					カードなし				
○○（かして）ください	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
備考															

## 課題 ⑤ 要求【動詞の分化】（般化）

### □ 要求【動詞の分化】

- ・ ○○（かして）ください

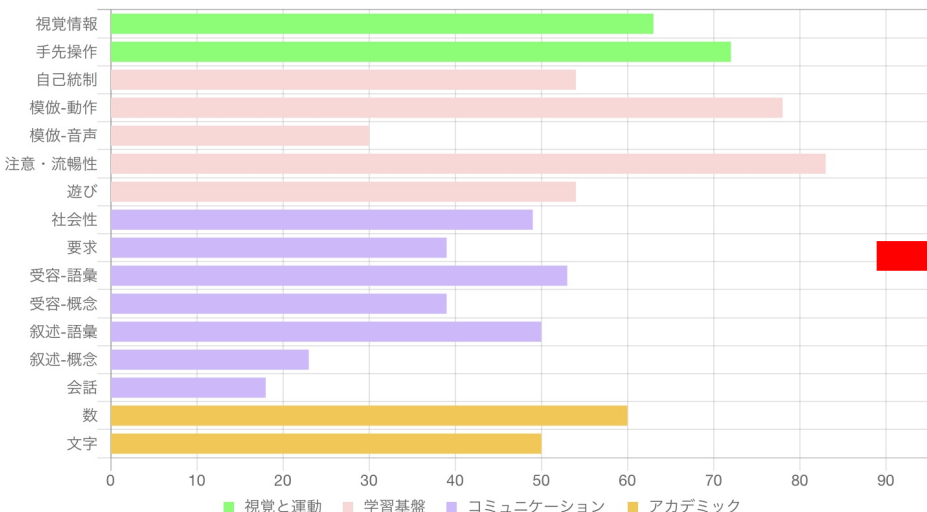
国語・算数の自立課題の時間に実施。

【記録表】要求（般化）

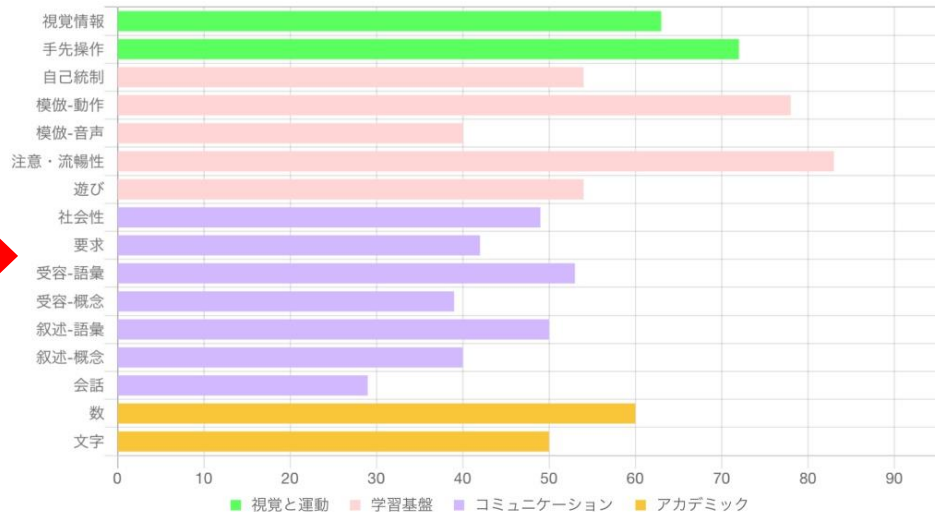
	12/17	12/23	1/14	1/21	1/28
ペン（かして）ください	+	+	+	+	+
クリップ（かして）ください	+	+	+	+	+
備考					

# まとめ① AI-PACの俯瞰図から

□ R6年9月時点でのマスター率



□ R7年2月時点でのマスター率



R6年9月時点とR7年1月時点のマスター率を比較すると、

【要求】 39%→42%

【叙述-概念】 23%→40%

【会話】 18%→26%

となった。特に【叙述-概念】に大きな伸びが見られた。



## まとめ② AI-PACの課題を通して

### □ 学校生活の中でコミュニケーションの伸びを感じた出来事

- ・想像をして話すことが増えた。

→給食献立について話をしていた時、献立表を見て「サクサク」と料理の食感を伝えたり、初詣の話をした時に屋台が出ている様子を思い出し、「お祭り」と言ったりすることがあった。

- ・道の駅でのキッチンカーのイベントや薬王寺でのお接待活動の際、自分から「どうぞ」等と言ってスープやお接待の品を手渡すことができた。

- ・自分の気持ちを言葉で表す場面が増えた。

→難しいことやうまくいかないことがあった際、言葉でうまく伝えられず、怒ったり、泣いたりすることが多かったが、「もやもや」「イライラ」等と表現した後、「分からない、教えてください」や「難しい」と伝えられるようになった。

## まとめ③

### □ 成功のポイント

- ・ どの課題においても、「初めに視覚的プロンプトを提示しフェードアウトする」という本児に有効な学習の方法で取り組んだこと。

### □ 今後の課題

- ・ 他の挨拶や質問への返答を学習
  - ・ 嫌な活動があった際に、理由を選択する学習
- 出来事と理由が結びついていない可能性があるため、絵本や本人が出てくるストーリー等で色々なパターンを練習していく必要がある。
- ・ 会話に関する次のステップとして、相槌を打ったり、相手に質問をしたりする練習